

2010年3月24日

フォンテックス

民生用 世界最速プラスチック光ファイバ「**FONTEX™**」の販売を開始
～取扱性に優れ次世代3Dテレビなどの配線に最適～

AGC 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社・本社：東京、社長：石村和彦）は、新しいフッ素系プラスチック光ファイバ“FONTEX”（由来：光の泉）の販売を本年7月より開始することとしました。この製品は、**10ギガビット／秒（Gbps）の大容量データ通信ができ、また既存の石英ファイバでは成し得なかった小さく折り曲げた状態での通信が可能、世界初の光ファイバ**です。踏みつけたり折り曲げるなど乱暴な取扱いをすることが想定される家庭内でも、気軽に安全に安心して使用できます。

さらに、本年3月9日付で内閣府の最先端研究開発支援プログラムの助成対象に決定した慶應義塾大学 小池康博教授の「世界最速プラスチック光ファイバ」研究課題の中核企業として、当社は「日本発の光技術による新市場創出」の実現に向け、**40Gbps以上のさらなる超高速対応や、ケーブル・コネクタなどを含めた各種応用商品への量産技術開発**を行ってまいります。

最近話題になっている「フルハイビジョン」や「3Dテレビ」は更なる映像技術の進化が計画されており、近い将来大容量データの高速伝送が必要になると予想されています。昨年9月に Intel 社が銅線に替わる光ファイバによる新しい光伝送インターフェース「**Light Peak**」を発表したように、パソコンと周辺機器との接続も大容量伝送が必要となりつつあります。また、**データセンター**においても高速かつ低消費電力のデータ通信を実現するため、サーバーやストレージなどの機器間に光配線が使われ始めています。さらに電磁ノイズが発生しないため**医療分野**や、素材の軽量化が求められる**自動車分野**など他の分野でも採用が検討されており、通信の世界では大きな光化の潮流が起こりつつあります。今後、民生用（社会インフラ系を除く）の光配線は急速に立ち上がり、2015年には1500億円以上の新市場が創出されると予想されています。

このように光通信市場が拡大する中、当社では昨年3月にこの新しいフッ素系プラスチック光ファイバのサンプルワークを開始しました。以来各業界のお客様から高いご評価を頂き、また新たな光化のニーズが更に高まっていることから、今般新商品“FONTEX”として販売を開始することとしました。

この“FONTEX”の特徴は以下の通りです。

- ① 従来の銅線に対する光ファイバ（石英ファイバ、“FONTEX”）の利点
 - ・ **10Gbps**の高速・大容量伝送が、細い1本の光ファイバで可能
 - ・ **低消費電力**による省エネを実現
 - ・ 電磁ノイズ発生がなく医療分野での使用に最適
 - ・ ケーブル重量は1/3以下に軽量化可能
 - ・ ケーブルの細径化により意匠性、設計自由度が向上

- ② 石英ファイバに対する “FONTEX” の利点
 - ・ フッ素樹脂特有の低材料分散性による、さらなる高速性のポテンシャル
 - ・ プラスチックならではの「折れない」だけでなく「**結んでも折り曲げても通信可能**」なため、取り扱いや配線設計が自由
 - ・ コア径やファイバ外径を任意に変更できるため安価なコネクタ接続が可能
 - ・ 折れず刺さらず安全なため、ケーブル端末処理の作業性が向上

今回発売する“FONTEX”は、当社化学品事業のコアテクノロジーであるフッ素化学技術から生まれた商品です。当社のプラスチック光ファイバは、1994年より慶応義塾大学の小池康博教授と共同で研究開発を進め、2000年よりマンションや病院、データセンター等の光配線に採用実績があり高い評価を得てまいりました。“FONTEX”は、これまで培った技術を進化させ、新しい時代のニーズにマッチするよう更に性能を向上させた新製品です。今般の販売開始にあわせ、当社京浜工場（横浜市鶴見区）で現有する製造設備を改良し、量産体制を整えます。

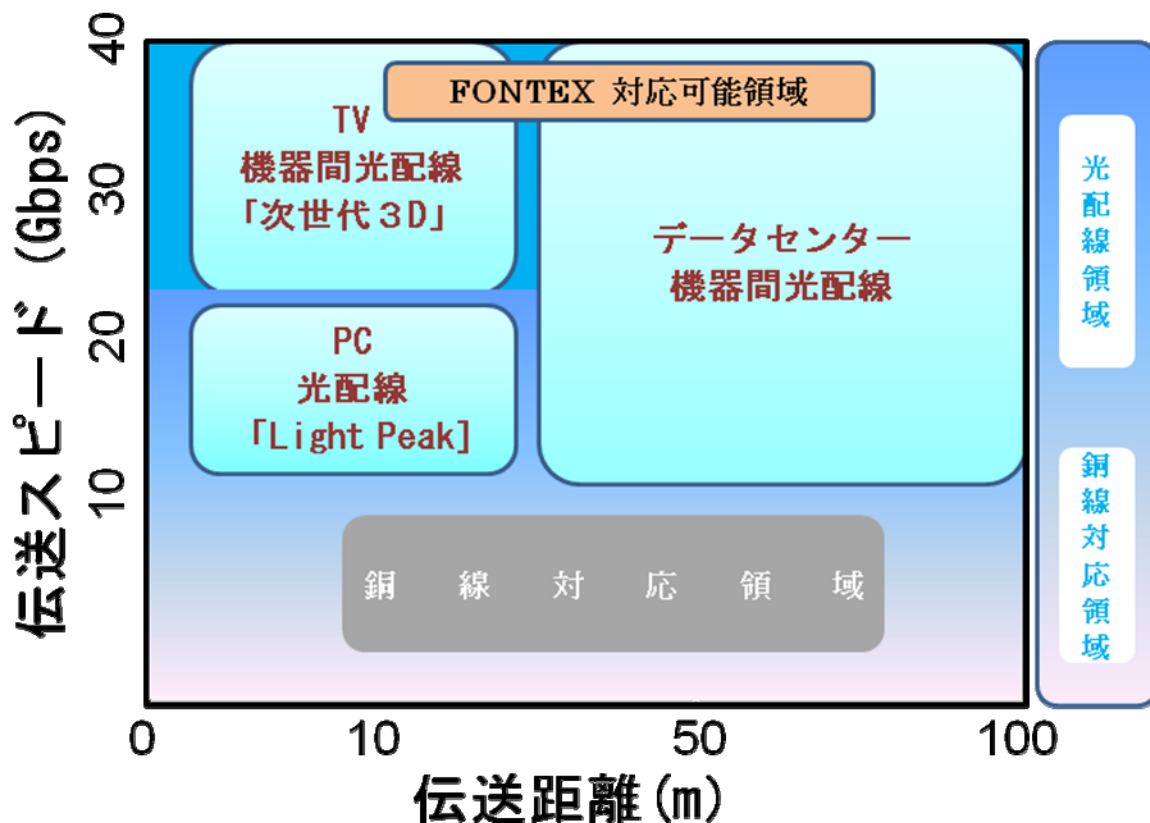
今後、当社では来るべき大容量のデータ伝送が必要となるデジタル化社会において、光化のニーズに対応する情報家電用光ケーブルなど幅広い市場分野に参入します。また、今後もマーケティング力・開発力を活かし、新製品の上市を加速します。

以上

◎本件に関するお問い合わせ先：AGC旭硝子(株)広報・IR室長 上田 敏裕
 (担当：小田 TEL：03-3218-5260、E-mail：info-pr@agc.co.jp)

<参考資料>

1. 光化に進む市場動向



2. **フルハイビジョン**：横に1920、縦に1080個の画素（ピクセル）が並んだディスプレイ。従来のテレビに比べ高精細なため通信データ量が多くなる。
3. **3Dテレビ**：視聴者に立体的な映像を提示することができるような3次元テレビ。左目用と右目用の画像情報が必要なため、従来の2次元テレビに比べて2倍以上の通信データ量とするか、あるいは、同じ通信データ量ならば従来よりも低画質になる。
4. **Light Peak**：IntelがIntel Developer Forum 2009で発表した、高精細ディスプレイやパソコン周辺機器などを光ファイバで相互に接続する新しい光伝送インターフェース。

以上